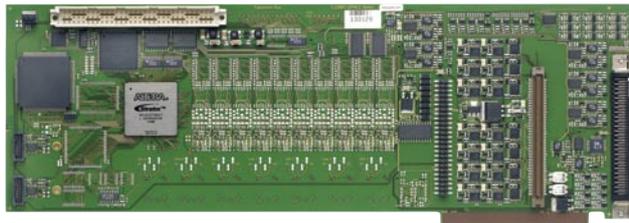


DS2202 : 個々の目的に合わせた機能

dSPACE には、トランスミッションおよび車体エレクトロニクスの HIL (Hardware-in-the-Loop) シミュレーション用に特別に設計された新しいボード、DS2202 HIL I/O ボードが用意されています。プロセッサボードと組み合わせると、ユーザーは自分の目的に合った独自の dSPACE Simulator を作成することができます。

コストパフォーマンスの高い DS2202 は、dSPACE Simulator または PC 用の拡張ボックスにプロセッサボード (DS1005 または DS1006) と共に取り付けることができます。また、追加のボードによって拡張することもできます。DS2202 の統合されたシグナルコンディショニング機能により、ECU (電子制御ユニット) を DS2202 に直接接続できるようになりました。これまで、これは DS2211 HIL I/O ボードでのみ可能でしたが、2 枚のカードはピンの互換性があるので、dSPACE Simulator Mid-Size に DS2202 を簡単に取り付けることができます。



▲ 特定の HIL シミュレーション用の新しい DS2202 HIL I/O ボード

- 新しい DS2202 HIL I/O ボード
- トランスミッションおよび車体エレクトロニクアプリケーション用に特別に設計
- リリース 5.0 からのソフトウェアサポート

DS2202 には、次の機能があります。

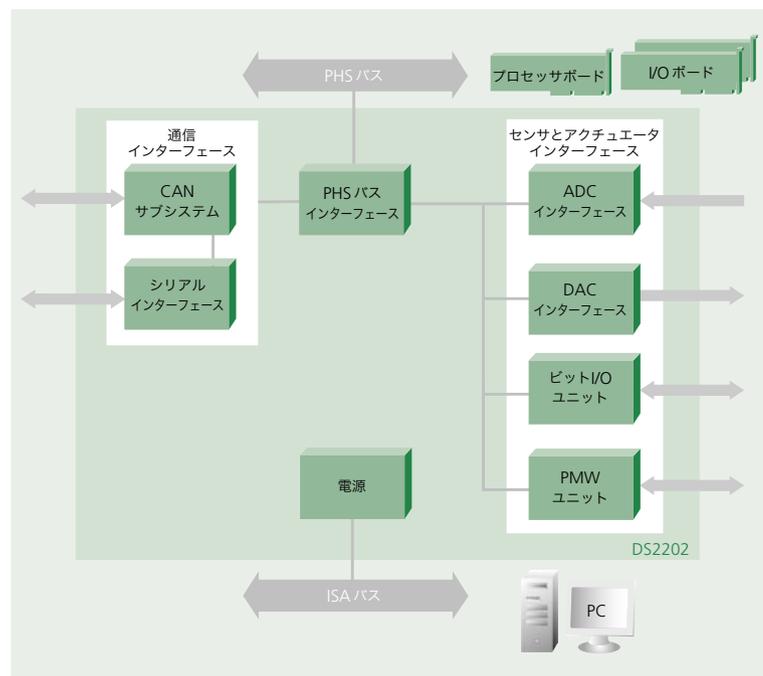
- 20 個のアナログ出力
- 16 個のアナログ入力
- 16 個のデジタル出力
- 38 個のデジタル入力、うち 24 個は PWM 入力としても使用可能
- 9 個の PWM 出力
- 2 つの CAN チャンネル
- シリアルインターフェース (RS232/RS422)

DS2202 は、次の分野で使用できます。

- トランスミッションアプリケーション
- 車体エレクトロニクス (シート調整、自動ドアロック、車両盗難防止システム、ミラー調整など)

開発プロセスにおいて、DS2202 は機能テストからリリーステストまで使用されます。DS2202 は、dSPACE Simulator の既存の入出力に対する拡張としても機能します。

ボード上のチャンネルを ECU 上のチャンネルに割り当てるには、Real-Time Interface (RTI) ソフトウェアを使用します。dSPACE リリース 5.0 は、すでに DS2202 に対する広範なソフトウェアサポートを提供しています。



▲ DS2202 のブロック線図